

平成 19 年(2007 年)2月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書(4日目)

平成 19 年 3 月 5 日 (月)

※1人当たり 15 分間 (答弁を除く)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	大城 朝助 (日本共産党)	1 旭橋駅周辺 再開発事業に ついて 2 石嶺市営住 宅第 1 期建替 工事(建築・1 工区)再入札 の結果につい て	(1) 2月27日に日本共産党を代表して、私が行った代表質問に対する答弁の中で、都市再生特別措置法に基づく民間再開発事業で、補助金を起債で充当している他市の事業について、事実と異なる内容の答弁があったが、事実関係を改めて確認する (2) 旭橋再開発(株)の出資構成について、金額と比率について答弁を求める (3) 旭橋駅周辺再開発事業の事業費に対する補助金の起債充当は、県が 50.5%出資しているからか、それとも、計画に街路事業が含まれているからか。また、沖縄県の出資比率は当初から 50.5%か、当初は何%か。答弁を求める (4) 旭橋再開発に対する補助金の起債充当分に対して、後年度に交付税措置はあるのか、答弁を求める 石嶺市営住宅第 1 期建替工事(建築・1工区)の再入札の落札価格が、1回目の落札価格を上回ったのはなぜか

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 談合・入札問題について	<p>(1) 談合及び官製談合とは何か、この5年間の大きなこの種の事件が全国、県内でどれだけ起こっているか</p> <p>(2) 談合について、全国市民オンブズマンはどのように指摘しているか</p> <p>(3) 市はこの種の談合が起こらないように努力を行っているか</p> <p>(4) 新年度予算は普通建設事業などが増えているが、適正、公正、厳格な入札方式は緊急の課題である。最近の1億円以上の工事の入札率と市当局の見解を求める</p>
		4 ホームレスの自立支援の取り組みについて	<p>(1) 平成18年度におけるホームレス及び、市民からの相談件数と相談内容の特徴について、答弁を求める</p> <p>(2) 那覇市における、ホームレスの自立支援のための那覇市の予算はどうなっているか。また、今後の課題と具体的取り組みについて</p>
		5 那覇市での高層ビル・マンション建設と住民合意について	<p>新都心地区で予定されている高層マンションについて、おもろまち自治会から不安解消について具体的な項目の陳情・要請があったが、当局の対応を答弁せよ。高層ビル・マンションについては、住民合意が必要でないか、答弁を求める</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成19年3月5日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	喜舎場 盛三 (公明党)	<p>1 子どもの居場所づくりについて</p> <p>2 福祉行政について</p> <p>3 自治会行政について</p>	<p>子どもを取り巻く環境の変化、そして家庭や地域の子育ての力、教育力の低下が心配されている中、子どもたちが放課後等に安全安心に過ごし、健やかな活動ができる場所づくりを図る目的で平成16年度から18年度までの3年間「地域子ども教室推進事業」が実施されてきた</p> <p>(1) 18年度における同事業の実施箇所数、参加した子どもの数、大人の数、また無償ボランティアの数を伺う</p> <p>(2) 3年間の同事業の成果を伺う</p> <p>(3) 19年度から新たに「放課後子どもプラン推進事業」が創設され、その中に「放課後子ども教室推進事業」「放課後児童クラブ事業」があるが、それぞれの事業の概要を伺う</p> <p>本庁舎を含む公共施設や民間の店舗の駐車場に、車いすに座った人をデザインしたマークが描かれた駐車スペースが設けてあるが、そのスペースは、どのような人が対象になっているのか伺う</p> <p>(1) 「市民との協働まちづくり」推進のためには、自治会活動の果たす役割は大きいと思うが、本市が自治会に委託している事業は、どのようなものがあるか</p> <p>また自治会自ら取り組んでいる事業には、どのようなものがあるか、また自治会の役割についての本市の見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 消防行政について</p> <p>5 教育行政について</p>	<p>(2) 17年度自治会加入率25%のようだが、そのような低い加入率の要因は何か。また加入率を高めるために、どのような取り組みがされているか伺う</p> <p>(1) 県内の各消防本部長と県の担当者と構成される協議会から、広域の消防救急デジタル無線の共同使用について、県に報告書が提出されたようだが、その内容を伺う</p> <p>(2) 消防本部の広域化について、大きな動きがあると聞いているが、そのスケジュールは、どうなっているのか伺う</p> <p>(1) 小中学校における図書の整備の状況を見ると、文部科学省の学校図書標準を達成しているのは全国で小学校37.8%、中学校では32.4%のようである。それに比して、本市では、小学校が達成率126%、中学校が120%でかなり素晴らしいと思う</p> <p>① 本市の学校で、1年間の図書の更新冊数、また廃棄冊数は学校平均で何冊なのか伺う</p> <p>② それぞれの学校平均の図書費は幾らか。また、そのうちPTA会費からまかなっているのは幾らか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 市街地再開発について</p> <p>7 防犯について</p>	<p>(2) 城東小学校の校舎の建て替えが終了した。その教室の内装にかなり木材が使用されており、これは大変素晴らしいことだと思う。これから以後の学校校舎建て替えのときにも、内装の木質化の割合を高めるように努めてほしい。見解を伺う</p> <p>(1) 牧志・安里地区再開発事業の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 当地に住んでいる地権者の方々に対する補償交渉は、どうなっているのか伺う</p> <p>繁多川市営住宅のある地域は最近人口が増加している。交番所の設置の要望が多いが見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成19年3月5日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	金城 徹 (自民・無所属 連合)	<p>1 消防行政について</p> <p>2 防災行政について</p>	<p>総務省消防庁の調査で2006年4月現在の消防団員数が過去最少となったということだが、本市の状況を以下について質問する</p> <p>(1) 本市の消防団の定数と現員について</p> <p>(2) 団員の職種別の構成及び女性団員数と、その職務内容について</p> <p>(3) 機能別団員制度について説明を求める</p> <p>(1) 新聞報道によれば、県の津波・高潮被害想定検討委員会が久米島北方沖でM7.8規模の地震を想定した場合、県内の被害を死者2,000人以上と予測している。そこで以下について当局の所見を伺う</p> <p>① 本市の人的・物的被害状況について</p> <p>② 被害地域と戸数及び被災人数について</p> <p>③ 市民への警報及び避難誘導の体制について</p> <p>(2) 国は、災害時要援護者の避難支援ガイドラインにおいて避難支援計画を定めるよう自治体に対して要請しているが、本市の状況について伺う</p> <p>① 避難支援計画について</p> <p>② 福祉関係部局と防災関係部局の横断的組織体制について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 緑化行政について	<p>③ 要援護者の名簿作成について</p> <p>④ 要援護者に対する個別計画について</p> <p>⑤ 避難所における要援護者の相談窓口について</p> <p>平成17年2月定例会において、以下について質問をしたが</p> <p>(1) 市内各所に桜の名所づくりをすべきとの提言</p> <p>(2) 市民等を対象にした記念植樹制度の提言、その後、どのように進捗しているのか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、消防長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成19年3月5日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	玉城 彰 (民主クラブ)	<p>1 高齢者福祉施設について</p> <p>2 老人福祉センターの修繕工事等について</p>	<p>老人福祉センター・老人憩の家は、那覇市に住する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に对应するとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を総合的に提供することによって、健康で明るい生活を営ませる目的で設置されている。そこで、次のことについて伺う</p> <p>(1) 施設の利用状況について</p> <p>(2) 利用者の男女比率について</p> <p>(3) 広報活動の内容について</p> <p>(4) 開館時間について</p> <p>(5) 今後の課題について</p> <p>(1) 末吉老人福祉センターの1階の健康相談室とビリヤード室の天井からの水漏れ及び憩いの間と談話室の畳の傷みが激しく、修繕が必要と思われるが見解を伺う。また、空調設備の更改時期と撤去計画についても伺う</p> <p>(2) 識名老人福祉センターの汚水処理の浄化施設が経年劣化で故障が多いと聞いている。その改修工事計画について伺う</p> <p>また、夏場になると施設敷地内にハブが出没するようである。児童館が隣にあって、子供たちはもとより、施設利用者の安全確保の面からも危険である。聞くところによると、施設裏側の墓地との境界にあるコンクリートのり枠工が生息地になっているようである。早急にコンクリート等で埋めてほしいとの要望があるが、見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 道路行政について	<p>(3) その他の施設の修繕箇所等について伺う (機能回復器具も含めて)</p> <p>首里石嶺線の拡幅工事の進捗状況について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成19年3月5日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	桑江 豊 (公明党)	<p>1 公園行政、観光行政について</p> <p>2 下水道行政、環境行政について</p> <p>3 交通行政について</p>	<p>がじゃんびら公園の中にある、美空ひばり「花風の港」歌碑について</p> <p>(1) 建立されるまでの経緯</p> <p>(2) 由来の立て看板設置</p> <p>(3) 観光スポットとしてのアピール</p> <p>高良2丁目の公共下水道雨水開水路について</p> <p>(1) 現状を把握しているか</p> <p>(2) この地域の下水道接続率は、どうなっているか</p> <p>(3) 今後の対策として</p> <p>① 悪臭</p> <p>② 雑草</p> <p>③ 不法投棄</p> <p>小祿の県道221号線モノレール通りジャスコ方面から奥武山向け、小祿小学校方向へ右折する際、信号機に時差がなく、右折しにくい危険な交差点である</p> <p>(1) 現状を把握しているか</p> <p>(2) 早急に改善を申し入れるべきだと考えるが、見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成19年3月5日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	翁長俊英 (公明党)	モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業について	<p>(1) 事業の目的及び那覇市のメリット</p> <p>(2) 事業に起債充当しなかった場合のデメリット</p> <p>(3) 現在の進捗状況について</p> <p>(4) 施行者となる旭橋都市再開発株式会社と営利を追求する民間の株式会社との違いは何か</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 交通安全対策について</p> <p>4 環境行政について</p>	<p>通学路における交通安全対策について 小祿地域の「さつき小学校区」のスクールゾーンのうち、宇栄原新町方面のスクールゾーンには歩道が設置されていない。また、当地域はバス路線であり、交通量の多い地域である 大変危険な状態であり、子供たちの安全な通学路が確保されていない そこで、歩道の設置等交通安全対策について、当局の所見を求める</p> <p>(1) 子供たちの通学路の安全を確保するため、「さつき小学校区」の宇栄原新町方面へのスクールゾーンに歩道等を設置することについて、どのように考えているか</p> <p>(2) スクールゾーンの路面表示で早期対応する方法はないか伺う</p> <p>新焼却炉の管理について 新焼却炉の管理体制と管理運営費の状況について当局の所見を求める</p> <p>(1) 新焼却炉の管理体制はどうなっているか</p> <p>(2) 新焼却炉の管理運営費について、平成18年度見込み、平成19年度予算額並びに20年以降運営費が増大することが予想されるが、管理運営費の減少に関し、本市として今後の対応策について伺う</p> <p>① 歳入確保を、どのように図ることができるか伺う</p> <p>② 歳出削減対策について、どのようなことができるか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長</p>

個人質問（4日目） 平成19年3月5日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	洲 鎌 忠 (大志の会)	教育行政について	<p>改正教育基本法の制定について</p> <p>(1) 教育基本法の改正の理由について問う</p> <p>(2) 改正教育基本法と現行法の違いは何か</p> <p>(3) 改正基本法の教育の目標は何か。その目標実現のため、どのような施策を考えているのか問う</p> <p>(4) 私立学校の教育の現状と、これまでの実績並びに今後の振興策について問う</p>
			<p>【答弁を求める者】</p> <p>市長、助役、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	宮國 恵徳 (そうぞう)	1 財政問題及び雇用対策について	<p>(1) 政府の三位一体の改革で、来年度(平成20年度)の予算編成作業の取り組みも、大変苦しい状況になると当局は話している。本市の財政状況も厳しさを増すばかりである。また同時に、各地方自治体の財政改革は焦眉の課題であると思う</p> <p>夕張市の状況を考慮した場合、当然財政改革に取り組んでいると推察するが、当局は、どのように取り組もうとしているのか伺う</p> <p>(2) 政府が策定した「頑張る地方応援プログラム」によると、やる気のある地方が自由に独自の施策を展開することにより「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講じるとなっている</p> <p>そこで、同プログラムに対する市の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 政府が「成長力底上げ戦略」基本構想を明示し、経済成長を下支えする基盤(人材能力、就労機会、中小企業)の向上を図ることにより、働く人全体の所得、生活水準を引き上げつつ格差の固定化を防止することを目指している</p> <p>同戦略に対し、当局はどのように対処して活用しようとしているのか。また、同戦略は雇用問題と関連することを踏まえ、本市は同構想を基本にした雇用対策をどのように進めようとしているのか伺う</p>

